

あなたは、
ねぎ派？
ぶどう派？

「Javascriptで**選択**を便利に」

資料の掲載ページ

本日お話したソースの掲載ページ

<http://www.ankosoft.co.jp/redmine-tokyo-15ht/>

今日お伝えしたいこと

Redmineの画面に関するUIはJavaScript
で簡単にカスタマイズ可能

その実例として2つの独立した大項目と
中項目のセレクトボックスの連動方法を
発表します。

類似機能の他のアプローチ

<http://blog.enjoyxstudy.com/entry/2016/04/03/000000>

Redmine: カスタムフィールドを連動させる(親の値に応じて、子を絞り込む)

進捗率 0 %

カスタムフィールド親

ファイル

チケットのウォッチャー

カスタムフィールド子

A

B

C

A 1

A 2

A 3

B 1

B 2

C-1

作成

連続作成

プレビュー

大項目

野菜

果物

野菜

調味料

中項目

ねぎ

じゃがいも

はくさい

にんじん

中項目には
大項目が表
示されません。

似ていますが、
パクリではありま
せん。。。
処理の仕方が内
部的には異なり
ます。

Javascriptで作ってみた

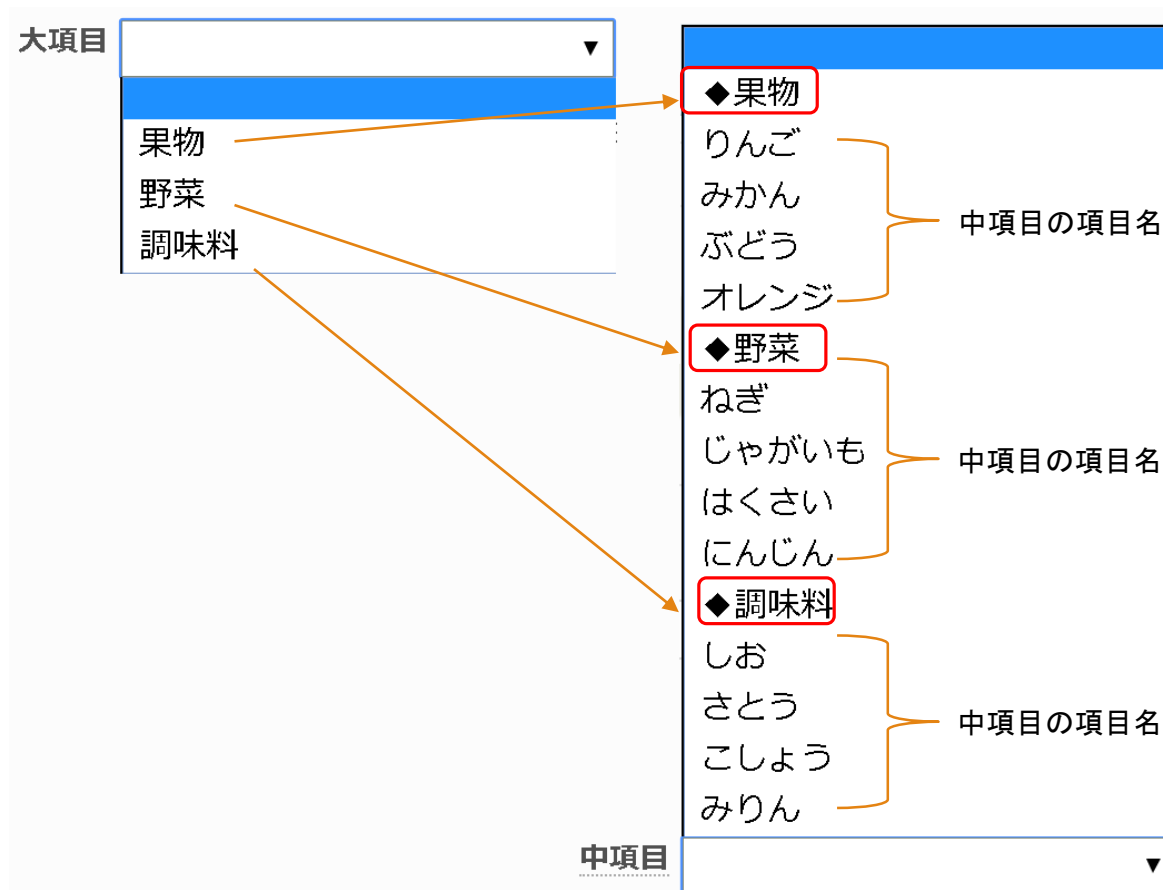
2つのセレクトボックスを連動させました。

デモ

レシピ①：動作原理

- 1) 中項目の全ての項目を非表示にする
- 2) 大項目の項目が変更された時の項目名を取得する
- 3) 中項目で全ての項目に対して下記の処理をする
 - 3-1) 項目2)で取得した値が含まれている項目が出現したら、次の中項目から次の大項目までを、「非表示状態を表示状態」に変更する

レシピ② : Redmine側の準備



大項目と中項目のセレクトボックスを準備

中項目の項目名に、大項目名の項目名の先頭に区切り文字として「◆」を付けて登録

その後に中項目の項目名を登録

これにより、大項目と中項目をマッピング(関連付け)します。

レシピ③ : id名を確認

ブラウザの開発者モードで大項目と中項目のセレクトボックスのid名を確認

今回の例では、

大項目のセレクトボックスのid名 : `issue_custom_field_values_1`

中項目のセレクトボックスのid名 : `issue_custom_field_values_2`



レシピ④ : Javascriptの準備

//-----

//大項目のカスタムフィールドの定義

my_daikoumoku=1

前頁で調べたカスタムフィールドのID名の内、最後の番号の部分指定する。

//中項目のカスタムフィールドの定義

my_chukoumoku=2

//中項目における大項目の項目名を意味する記号

my_kugiri_kigou="◆"

必ずしも「◆」でなくてもOKです。

//-----

レシピ④ : Javascriptの準備

all_display_none()

中項目の全ての項目を非表示にする

function all_display_none() {

//中項目セレクトボックスの全ての項目を非表示にする

\$("#issue_custom_field_values_"+my_chukoumoku+" option").each(function(i){

if (\$(this).val() != "" && \$(this).parent().prop("tagName") == "SELECT"){

\$(this).wrap('')

タグを追加して、項目を非表示

Optionタグの親要素のタグ名がSELECTである場合

自作の「all_display_none」関数を呼び出して、**optionタグにタグを追加**して、中項目セレクトボックスの全ての項目を非表示にする

自作関数

レシピ④ : Javascript適用後

中項目

中項目の全ての
項目が非表示に
なる

Elements

Console

Sources

Network

Performance

Memory

```
</div>
```

```
<div class="splitcontentright">
```

```
<p>
```

```
<label for="issue_custom_field_values_10">...</
```

```
<select name="issue[custom_field_values][10]"
```

```
<option value="">&nbsp;</option>
```

```
<span>
```

```
<option value="◆果物">◆果物</option>
```

```
</span>
```

```
<span>
```

```
<option value="りんご">りんご</option>
```

```
</span>
```

```
<span>...</span>
```

```
<span>...</span>
```

```
<span>...</span>
```

```
<span>...</span>
```

```
<span>...</span>
```

```
<span>...</span>
```

```
<span>...</span>
```

```
<span>...</span>
```

```
<span>...</span>
```

```
<span>...</span>
```

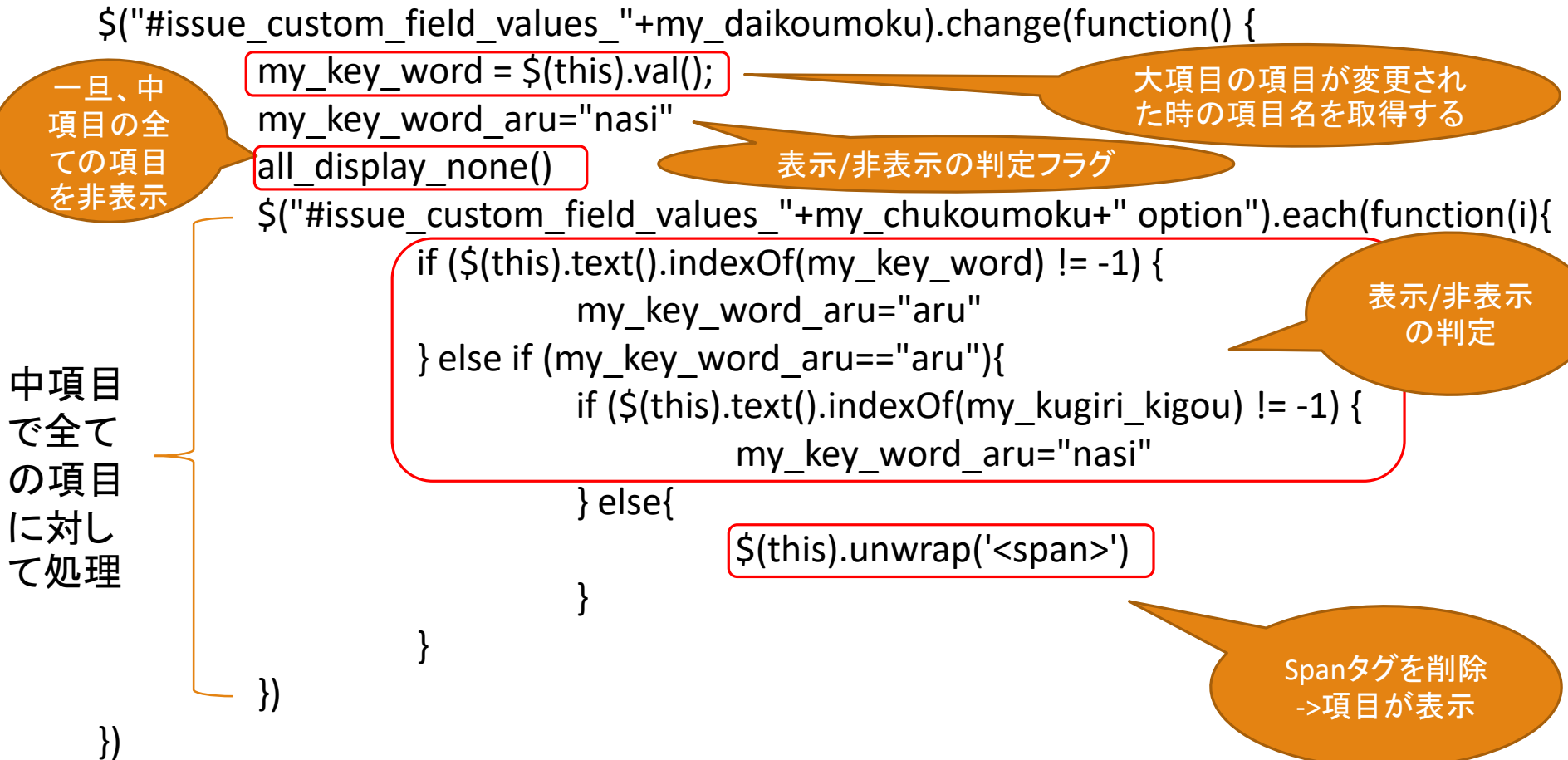
```
<span>...</span>
```

```
<span>...</span>
```

```
<span>...</span>
```

Optionタグ
にSpanタグ
が追加

レシピ④ : Javascriptの準備



レシピ④ : Javascript適用後

大項目と中項目の2つのセレクトボックスが連動します。

大項目

果物

中項目

ファイル

ファイル選択

選択されていません

(サイズの上限: 5 MB)

ウォッチャー

☐ 健一 高橋

☐ 太郎 山崎

☐ 愛 加藤

☐ 聡 渡辺

りんご

みかん

ぶどう

オレンジ

Console

Sources

Network

Performance

Memory

Application

Security

Audits

JavaScript Profiler

<label for="issue_custom_field_values_10">...</label>

<select name="issue[custom_field_values][10]" id="issue_custom_field_values_10" class="list_cf">

<option value=" "></option>

<option value="◆果物">◆果物</option>

<option value="りんご">りんご</option>

<option value="みかん">みかん</option>

<option value="ぶどう">ぶどう</option>

<option value="オレンジ">オレンジ</option>

 == \$0

<option value="◆野菜">◆野菜</option>

<option value="ねぎ">ねぎ</option>

Spanタグが除去
->項目が表示

Spanタグが存在
->項目が非表示

Styles

Com

Filter

element.styl

}

Inherited from

select {

-webkit-ap

box-sizing

align-iten

white-spac

-webkit-m

color: ■

background

レシピ④ : Javascript適用後

大項目

野菜

中項目

ねぎ

ファイル

ファイル選択

選択されていません

(サイズの上限: 5 MB)

ウォッチャー

☐ 健一 高橋

☐ 太郎 山崎

☐ 愛 加藤

☐ 聡 渡辺

Console

Sources

Network

Performance

Memory

Application

Security

Audits

JavaScript Profiler

<label for="issue_custom_field_values_10">...</label>

<select name="issue[custom_field_values][10]" id="issue_custom_field_values_10" class="list_cf">

<option value= ></option>

<option value="◆果物">◆果物</option>

<option value="りんご">りんご</option>

...

...

...

 == \$0

<option value="◆野菜">◆野菜</option>

<option value="ねぎ">ねぎ</option>

<option value="じゃがいも">じゃがいも</option>

<option value="はくさい">はくさい</option>

<option value="にんじん">にんじん</option>

...

Styles

Com

Filter

element.style

}

Inherited from

select {

-webkit-a

box-sizin

align-ite

white-spa

-webkit-r

color: ■

backgroun

cursor: d

border-wi

border-st

border-co

border-im

}

Spanタグが存在
->項目が非表示

Spanタグが除去
->項目が表示

レシピ⑤ : Javascriptを永続的に適用

プラグイン

ANKO Ganttchart plugin

This is a plugin for Redmine Gantt chart
<http://www.ankosoft.co.jp>

Ankosoft Inc

3.1.0

設定

View Customize plugin

View Customize plugin for Redmine
<https://github.com/onozaty/redmine-view-customize>

onozaty

1.2.2

アップデートを確認

表示のカスタマイズ >> 1

編集 削除

パスのパターン: /ankosoft/issues/new

挿入位置: 全てのページのヘッダ

種別: JavaScript

コード: `$(function(){`

```
//-----  
//大項目のカスタムフィールドの定義  
my_daikoumoku=1  
  
//中項目のカスタムフィールドの定義  
my_chukoumoku=2  
  
//中項目における大項目の項目名を意味する記号  
my_kugiri_kigou="◆"  
//-----
```

管理

- プロジェクト
- ユーザー
- グループ
- ロールと権限
- トラッカー
- チケットのステータス
- ワークフロー
- カスタムフィールド
- 選択肢の値
- 設定
- LDAP認証
- 表示のカスタマイズ
- プラグイン
- 情報

最後に

ブラウザの開発者モードでJavascriptを色々試してみる。エラーが出ても、ブラウザを更新したら元に戻り、他のユーザーには影響を与えないため、気軽にJavascriptの動作検証を行うことができる。

問題なく動作することを確認したら、Redmineに永続的に適用をする(「view customize plugin」のご利用をお勧め)。

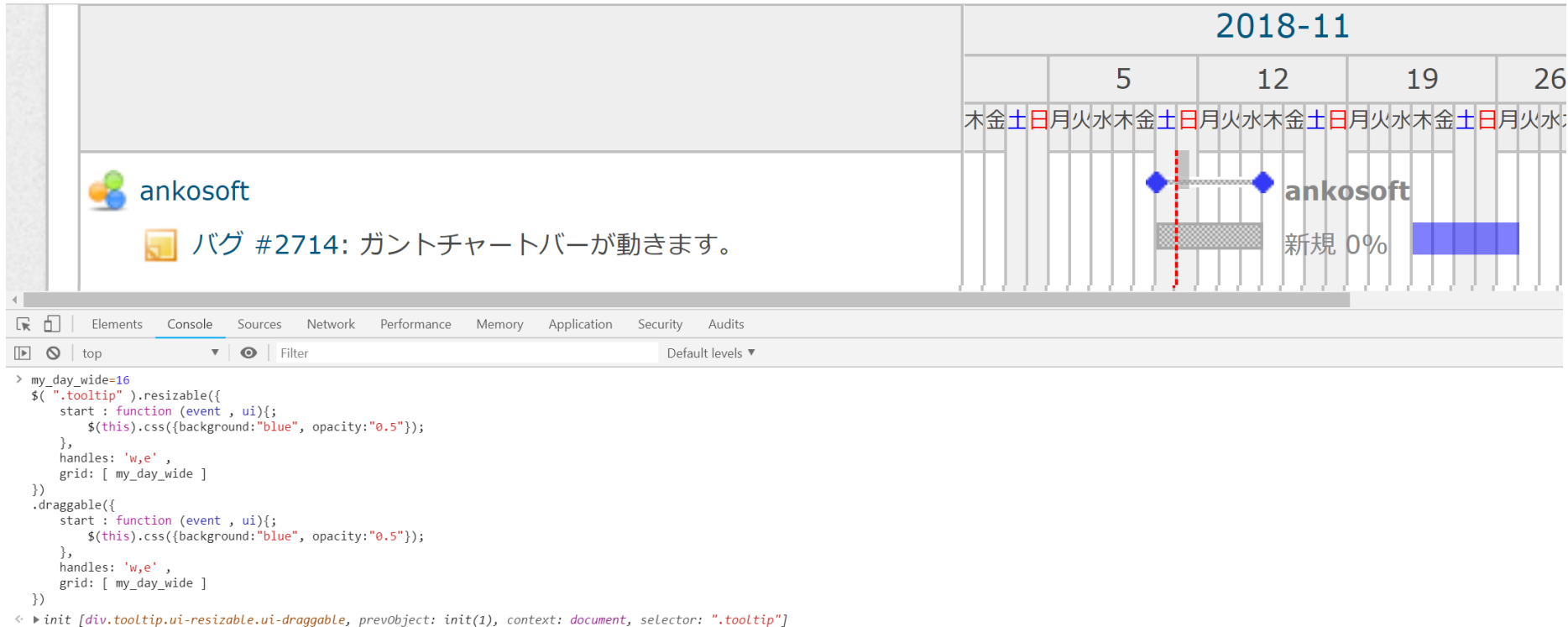
操作対象の要素にIDがあればIDを使って対象を特定し、IDがなければDOMを利用して、classや親子、兄弟要素から操作対象要素を確定する。

たったこれだけのソースで

おまけのソース: ガントバーが動きます

```
my_day_wide=16
$( ".tooltip" ).resizable({
    start : function (event , ui){
        $(this).css({background:"blue", opacity:"0.5"});
    },
    handles: 'w,e' ,
    grid: [ my_day_wide ]
})
.draggable({
    start : function (event , ui){
        $(this).css({background:"blue", opacity:"0.5"});
    },
    handles: 'w,e' ,
    grid: [ my_day_wide ]
})
```

おまけのソース: ガントバーが動きます



最後に

一番重要な質問です。

最後に

あなたは、
ねぎ派ですか？
それとも
ぶどう派ですか？

ご質問 & 連絡先

株式会社Ankosoftware

山崎 進

住所：〒111-0041 東京都台東区元浅草2-6-4
上野コアビル3F

メール：yamasaki@ankosoft.co.jp

電話：050-5326-6639

URL：<http://www.ankosoft.co.jp>